

乳がんチェックを指先に記憶、命を救う行動をデザイン



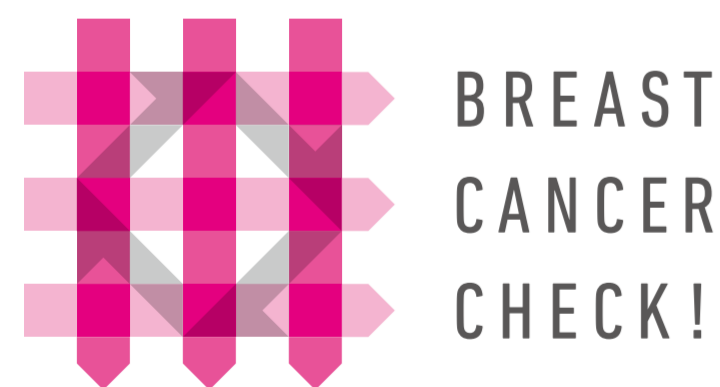
①SELF CHECK VEST



②SELF CHECK PAD



③COMPACT BOOK



BACKGROUND

理解の先の「行動」をデザインすること

乳がんは自分で見つけれられるがん。早期発見のおよそ60%は、セルフチェックで見つかった。それに関わらず、やり方を知っているのはたったの7%。この現実を受け、中京テレビは2018年から指3本のセルフチェックで「わかりやすく伝える」ための施策に取り組んできた。しかし認知・理解の先を目指す第2フェーズでは、ターゲットの「行動」に重点を置き、セルフチェックを習慣化させるためのアイデアが必要だと考えた。



IDEA

セルフチェックを「指先」に記憶させて習慣化

そこで指3本で行うチェック方法をターゲットの「指先」に記憶させるツールを開発。自分の胸を触る感覚でしこりを感じとれる①「SELF CHECK VEST」。誰もが手軽にしこりの感覚をつかめる②「SELF CHECK PAD」。指先を滑らすクリーム・ミラー・手引きをひとつにまとめ、日常的にチェックできる③「COMPACT BOOK」。これらの貸し出し・提供をはじめ、徹底して「行動」をデザインするコミュニケーションに注力。時間・場所に制約されず、小規模コミュニティや個人単位にまで届くセルフチェック体験を実現させた。

RESULT

命を救うデザインが業界・国境を越えて拡大

デザインツールの貸し出し・提供や各種のコンテンツ展開により、中京圏というエリアをこえて広く多くの人々に実践的なセルフチェック体験が届き、命を救う行動が日常に取り入れられている。また、2018年からの継続性と相まって「日本乳癌学会学術総会」での講演、プロジェクトの書籍化も実現し、業界やエリアを越えた認知が大幅拡大。その勢いは国内に留まらず、ブータン国立病院で動画の常設上映が行われるなど海外へも影響力を広げている。



お風呂で歌って覚える！
乳がんセルフチェックの歌



ガイド通り指をおけば完了！
セルフチェックガイドタオル



女性だけではなく
男性や子供も気軽に体験できるベスト



コロナ禍でも屋外イベントで
活用され続けている



業界を越えた
「日本乳癌学会学術総会」での講演が実現



各方面からの反響が大きく
プロジェクトが書籍化！



全国放送に取り上げられ
インターネット上でも話題に！